

14. 和歌山市の取り組みに対しての満足度・重要度について

問57 和歌山市の市政一般の満足度と重要度

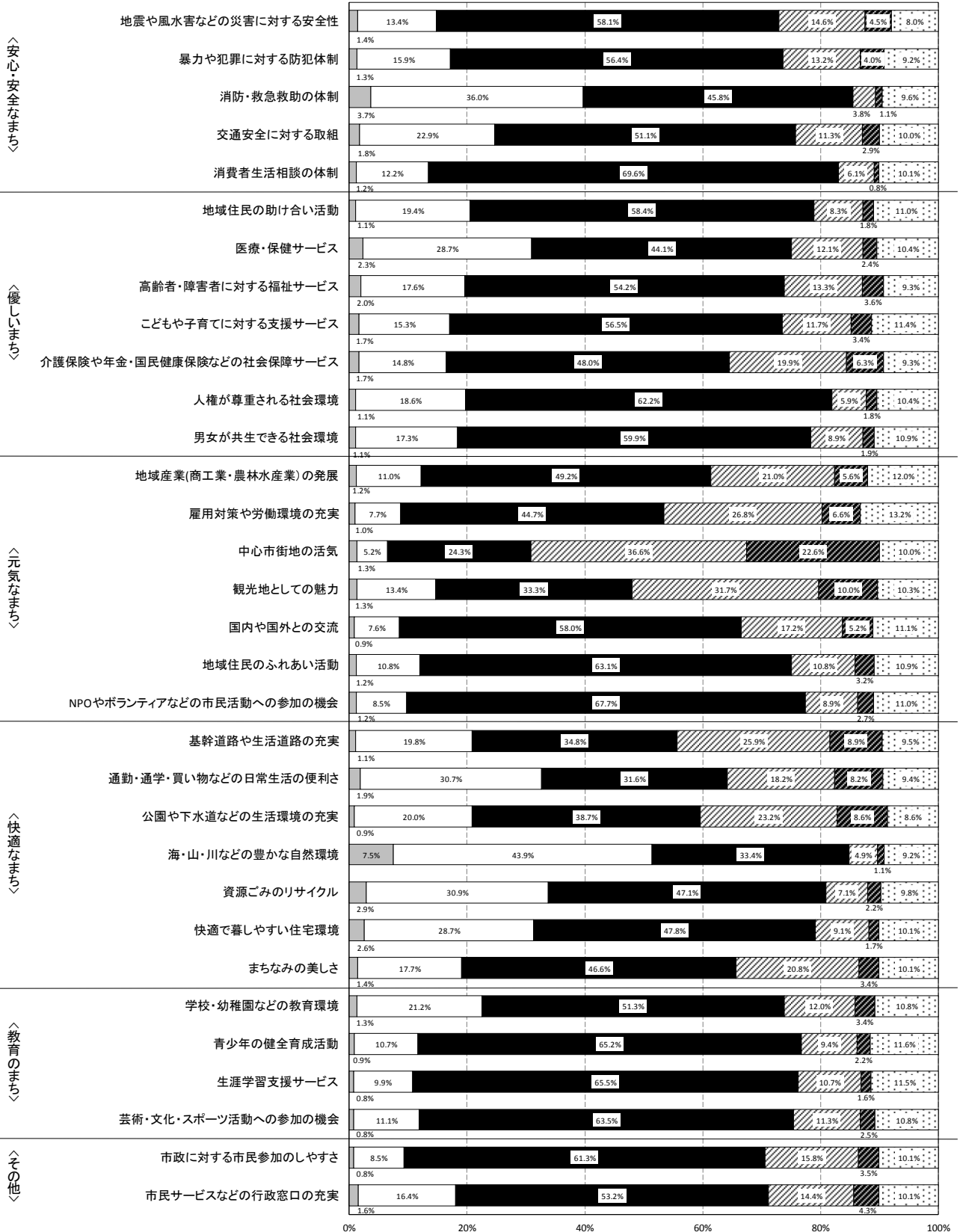
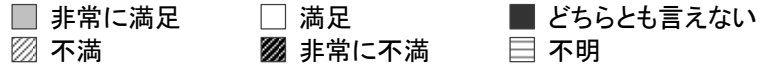
問57 和歌山市に住んでいて、つぎのことがらについてどのように感じていますか？
満足度と重要度から、それぞれ1つずつ選んで数字を○で囲んでください。

満足度： 1. 非常に満足 2. 満足 3. どちらとも言えない 4. 不満 5. 非常に不満
 重要度： 1. 非常に重要 2. 重要 3. どちらとも言えない 4. あまり重要ではない
 5. 全く重要ではない

安心・安全なまち	地震や風水害などの災害に対する安全性
	暴力や犯罪に対する防犯体制
	消防・救急救助の体制
	交通安全に対する取組
	消費者生活相談の体制
優しいまち	地域住民の助け合い活動
	医療・保健サービス
	高齢者・障害者に対する福祉サービス
	こどもや子育てに対する支援サービス
	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス
	人権が尊重される社会環境
	男女が共生できる社会環境
元気なまち	地域産業（商工業・農林水産業）の発展
	雇用対策や労働環境の充実
	中心市街地の活気
	観光地としての魅力
	国内や国外との交流
	地域住民のふれあい活動
	NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会
快適なまち	基幹道路や生活道路の充実
	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ
	公園や下水道などの生活環境の充実
	海・山・川などの豊かな自然環境
	資源ごみのリサイクル
	快適で暮らしやすい住宅環境
	まちなみの美しさ
教育のまち	学校・幼稚園などの教育環境
	青少年の健全育成活動
	生涯学習支援サービス
	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会
その他	市政に対する市民参加のしやすさ
	市民サービスなどの行政窓口の充実

【満足度】

n=1026



【満足率・不満率】

和歌山市の市政一般の満足度（「非常に満足」と「満足」を合わせた計）の高い項目は順に、「海・山・川などの豊かな自然環境」（51.4%）、「消防・救急救助の体制」（39.7%）、「資源ごみのリサイクル」（33.8%）、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」（32.6%）、「快適で暮らしやすい住宅環境」（31.3%）となっており、「快適なまち」と「安心・安全なまち」に係わる項目の満足率が高めとなっている。

不満度（「不満」と「非常に不満」を合わせた計）の高い項目は順に「中心市街地の活気」（59.2%）、「観光地としての魅力」（41.7%）、「基幹道路や生活道路の充実」（34.8%）、「雇用対策や労働環境の充実」（33.4%）、「公園や下水道などの生活環境の充実」（31.8%）となっており、「元気なまち」と「快適なまち」に係わる項目の不満率が高めとなっている。

＜性別＞

満足率の上位5位について性別にみると、上位3位は全体と同様の順位となっている。次いで「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」の順位が高めとなっている。

不満率の上位5位について、上位2位は全体と同様の順位となっている。次いで「基幹道路や生活道路の充実」、「雇用対策や労働環境の充実」、「公園や下水道などの生活環境の充実」の順位が高めとなっている。

【満足率（「非常に満足」と「満足」の計）の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=1026)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 51.4%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 39.7%	・資源ごみのリサイクル 【快適なまち】 33.8%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 32.6%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 31.3%
男性 (n=468)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 49.6%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 43.2%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 ・資源ごみのリサイクル 【快適なまち】 31.8%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 31.4%	
女性 (n=544)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 53.5%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 36.9%	・資源ごみのリサイクル 【快適なまち】 35.8%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 34.4%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 33.8%

【不満率（「非常に不満」と「不満」の計）の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=1026)	・中心市街地の活気 【元気なまち】 59.2%	・観光地としての魅力 【元気なまち】 41.7%	・基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 34.8%	・雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 33.4%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 31.8%
男性 (n=468)	・中心市街地の活気 【元気なまち】 56.6%	・観光地としての魅力 【元気なまち】 40.2%	・基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 36.8%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 32.9%	・雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 32.3%
女性 (n=544)	・中心市街地の活気 【元気なまち】 61.8%	・観光地としての魅力 【元気なまち】 43.4%	・雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 34.6%	・基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 33.1%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 31.1%

注：同率の項目は並記している。
※注は以降のページも同様である。

<年代別>

満足率の上位5位の項目について年代別にみると、18～59歳は「海・山・川などの豊かな自然環境」が1位であるのに対して、60～79歳は「消防・救急救助の体制」、80歳以上は「資源ごみのリサイクル」となっている。18～39歳、50～59歳、70歳以上は「医療・保健サービス」が、20～49歳、60～69歳は「快適で暮らしやすい住宅環境」、30～79歳は「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」の順位が高めとなっている。

【満足率(「非常に満足」と「満足」の計)の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳 (n=30)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 40.0%	・地域住民の助け合い活動 【優しいまち】 ・医療・保健サービス 【優しいまち】 33.3%		・男女が共生できる社会環境 【優しいまち】 ・基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 30.0%	
20～29歳 (n=81)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 61.7%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 44.4%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 ・資源ごみのリサイクル 【快適なまち】 37.0%		・医療・保健サービス 【優しいまち】 35.8%
30～39歳 (n=103)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 71.8%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 42.7%		・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 39.8%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 ・資源ごみのリサイクル 【快適なまち】 35.0%
40～49歳 (n=166)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 64.5%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 43.4%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 37.3%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 36.7%	・資源ごみのリサイクル 【快適なまち】 36.1%
50～59歳 (n=147)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 51.7%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 32.0%		・資源ごみのリサイクル 【快適なまち】 27.9%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 21.8%
60～69歳 (n=232)	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 46.1%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 44.0%	・資源ごみのリサイクル 【快適なまち】 34.1%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 32.8%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 31.5%
70～79歳 (n=189)	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 42.3%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 40.2%	・資源ごみのリサイクル 【快適なまち】 34.4%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 30.7%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 28.0%
80歳以上 (n=67)	・資源ごみのリサイクル 【快適なまち】 40.3%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 37.3%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 35.8%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 32.8%	・交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 29.9%

<地域別>

満足率の上位5位の項目について地域別にみると、いずれの地域も1位は「海・山・川などの豊かな自然環境」で共通しており、次いで「消防・救急救助の体制」の順位が高めとなっている。中心部と河西部は「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、南部は「快適で暮らしやすい住宅環境」、東部と東南部は「資源ごみのリサイクル」、河北部は「医療・保健サービス」の順位が高めとなっている。

【満足率(「非常に満足」と「満足」の計)の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=256)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 54.3%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 40.2%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 39.8%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 35.9%	・資源ごみのリサイクル 【快適なまち】 35.5%
南部 (n=108)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 52.8%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 46.3%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 39.8%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 36.1%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 ・公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 33.3%
東部 (n=147)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 53.7%	・資源ごみのリサイクル 【快適なまち】 36.1%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 34.0%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 28.6%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 26.5%
東南部 (n=74)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 48.6%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 36.5%	・資源ごみのリサイクル 【快適なまち】 33.8%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 31.1%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 27.0%
河西部 (n=291)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 48.5%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 36.8%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 35.7%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 31.3%	・資源ごみのリサイクル 【快適なまち】 30.9%
河北部 (n=101)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 54.5%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 53.5%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 42.6%	・資源ごみのリサイクル 【快適なまち】 36.6%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 30.7%

<年代別>

不満率の上位5位の項目について年代別にみると、1位は18～19歳で「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、20歳以上で「中心市街地の活気」となっており、18～19歳でも2位となっている。18～79歳は「観光地としての魅力」、50～59歳、70歳以上は「基幹道路や生活道路の充実」、20～49歳は「雇用対策や労働環境の充実」の順位が高めとなっている。

【不満率(「非常に不満」と「不満」の計)の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳 (n=30)	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 56.7%	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 53.3%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 ・ 国内や国外との交流 【元気なまち】	36.7%	・ 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 ・ 市政に対する市民参加のしやすさ 【その他】 30.0%
20～29歳 (n=81)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 56.8%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 45.7%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 ・ 観光地としての魅力 【元気なまち】	44.4%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 39.5%
30～39歳 (n=103)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 67.0%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 48.5%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 45.6%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 ・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】	42.7%
40～49歳 (n=166)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 68.1%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 ・ 観光地としての魅力 【元気なまち】	45.8%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 41.0%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【元気なまち】 39.8%
50～59歳 (n=147)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 68.7%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 46.9%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 43.5%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 39.5%	・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 36.7%
60～69歳 (n=232)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 62.5%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 50.4%	・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 36.2%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 31.0%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 29.7%
70～79歳 (n=189)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 44.4%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 28.0%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 24.9%	・ 介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 【優しいまち】 ・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】	24.3%
80歳以上 (n=67)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 44.8%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 26.9%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 23.9%	・ 介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 【優しいまち】 ・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】	20.9%

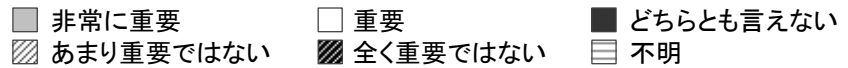
<地域別>

不満率の上位5位の項目について地域別でみると、いずれの地域も1位は「中心市街地の活気」で共通している。2位は中心部、南部、東部、河西部、河北部で「観光地としての魅力」、東南部は「公園や下水道などの生活環境の充実」となっている。「基幹道路や生活道路の充実」、「雇用対策や労働環境の充実」も高めとなっている。

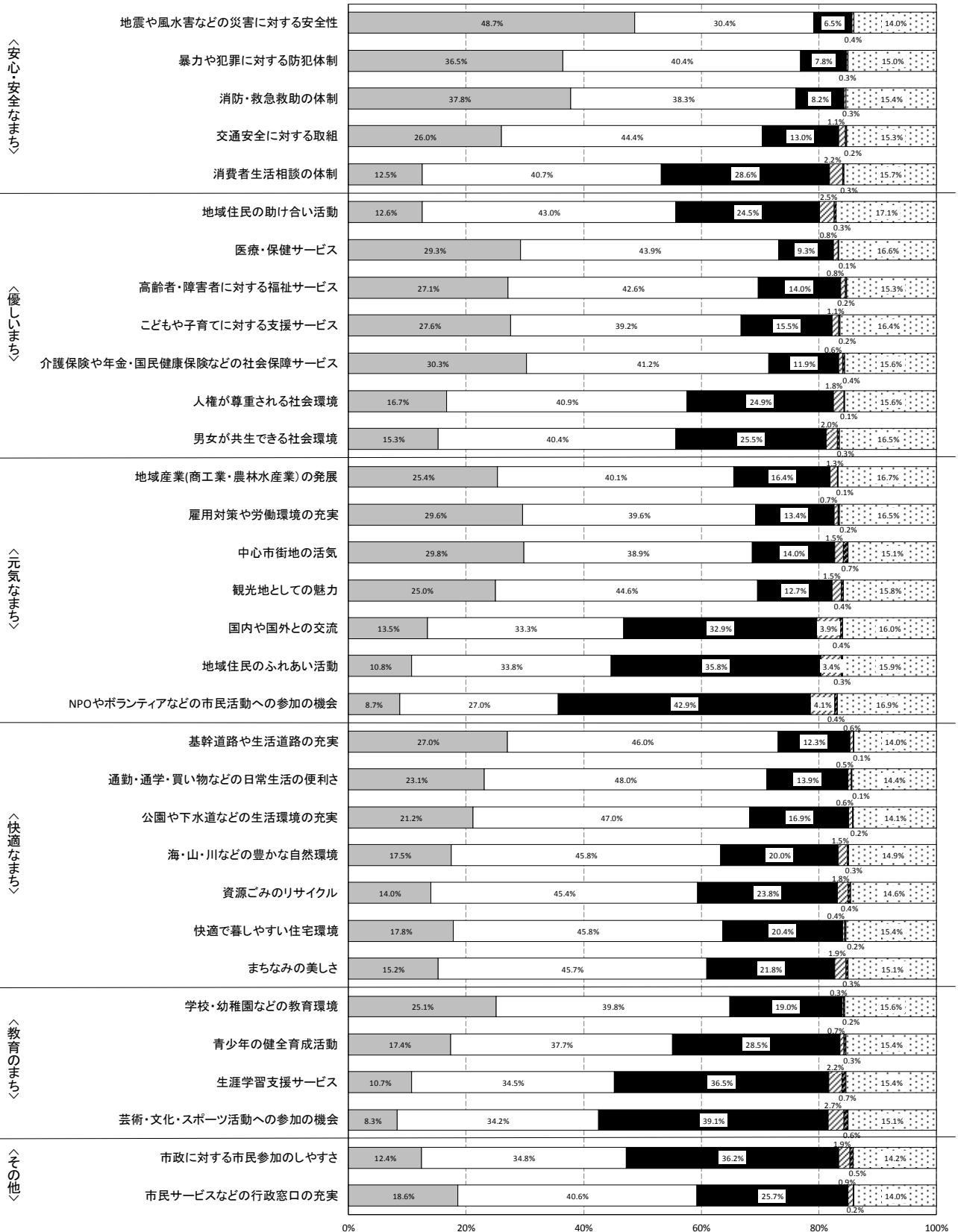
【不満率(「非常に不満」と「不満」の計)の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=256)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 62.5%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 47.7%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 34.8%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 30.1%	・ まちなみの美しさ 【快適なまち】 29.7%
南部 (n=108)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 61.1%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 42.6%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 36.1%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 34.3%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【元気なまち】 28.7%
東部 (n=147)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 55.8%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 39.5%	・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 38.8%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 36.1%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 34.0%
東南部 (n=74)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 58.1%	・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 40.5%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 37.8%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 ・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 33.8%	
河西部 (n=291)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 61.2%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 41.6%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 38.5%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 37.1%	・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 35.7%
河北部 (n=101)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 59.4%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 39.6%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 35.6%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 33.7%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 32.7%

【重要度】



n=1026



【重要率】

重要率の高い項目は順に「地震や風水害などの災害に対する安全性」（79.1%）、「暴力や犯罪に対する防犯体制」（76.9%）、「消防・救急救助の体制」（76.1%）、「医療・保健サービス」（73.2%）、「基幹道路や生活道路の充実」（73.0%）となっており、“安心・安全なまち”、“優しいまち”、“快適なまち”に係わる項目の重要率が高めとなっている。

<性別>

重要率の上位5位について性別にみると、上位3位は全体と同様の順位となっている。次いで男性は「基幹道路や生活道路の充実」（73.7%）、「医療・保健サービス」（72.9%）、女性は「医療・保健サービス」（74.1%）、「介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス」（73.3%）となっている。

【重要率（「非常に重要」と「重要」の計）の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=1026)	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 79.1%	・暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 76.9%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 76.1%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 73.2%	・基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 73.0%
男性 (n=468)	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 78.6%	・暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 76.5%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 75.2%	・基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 73.7%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 72.9%
女性 (n=544)	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 80.1%	・暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 77.9%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 77.4%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 74.1%	・介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 【優しいまち】 73.3%

注：同率の項目は並記している。
※注は以降のページも同様である。

<年代別>

重要率の上位5位の項目について年代別にみると、1位は18～39歳、50～69歳で「地震や風水害などの災害に対する安全性」と共通しており、40～49歳、70歳以上でも2位となっている。70～79歳は「高齢者・障害者に対する福祉サービス」、80歳以上は「基幹道路や生活道路の充実」となっている。18～19歳、40～49歳、60～69歳では「暴力や犯罪に対する防犯体制」が1位となっており、他の年代でも高めとなっている。「消防・救急救助の体制」はすべての年代で高めとなっている。

【重要率(「非常に重要」と「重要」の計)の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳 (n=30)	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 		<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 こどもや子育てに対する支援サービス 【優しいまち】 		<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 医療・保健サービス 【優しいまち】 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 観光地としての魅力 【元気なまち】 学校・幼稚園などの教育環境 【教育のまち】
		93.3%		90.0%	86.7%
20～29歳 (n=81)	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 医療・保健サービス 【優しいまち】 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 			
	92.6%				86.4%
30～39歳 (n=103)	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 医療・保健サービス 【優しいまち】 	<ul style="list-style-type: none"> こどもや子育てに対する支援サービス 【優しいまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】
	91.3%	90.3%	89.3%	87.4%	86.4%
40～49歳 (n=166)	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 医療・保健サービス 【優しいまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】
	90.4%	89.2%	87.3%	84.3%	81.9%
50～59歳 (n=147)	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 【優しいまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 	
	88.4%	83.7%	83.0%		79.6%
60～69歳 (n=232)	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 		<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 観光地としての魅力 【元気なまち】
		77.2%	76.7%	74.6%	74.1%
70～79歳 (n=189)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者・障害者に対する福祉サービス 【優しいまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 	
	58.2%	57.7%	56.1%		55.6%
80歳以上 (n=67)	<ul style="list-style-type: none"> 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 		<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 医療・保健サービス 【優しいまち】 高齢者・障害者に対する福祉サービス 【優しいまち】
	64.2%		62.7%	61.2%	59.7%

<地域別>

重要率の上位5位の項目について地域別にみると、いずれの地域も“安心・安全なまち”に関する項目が上位となっており、「地震や風水害などの災害に対する安全性」、「暴力や犯罪に対する防犯体制」はいずれの地域も上位3位となっている。河北部では「消防・救急救助の体制」が同率の1位となっており、他の地域でも高めとなっている。

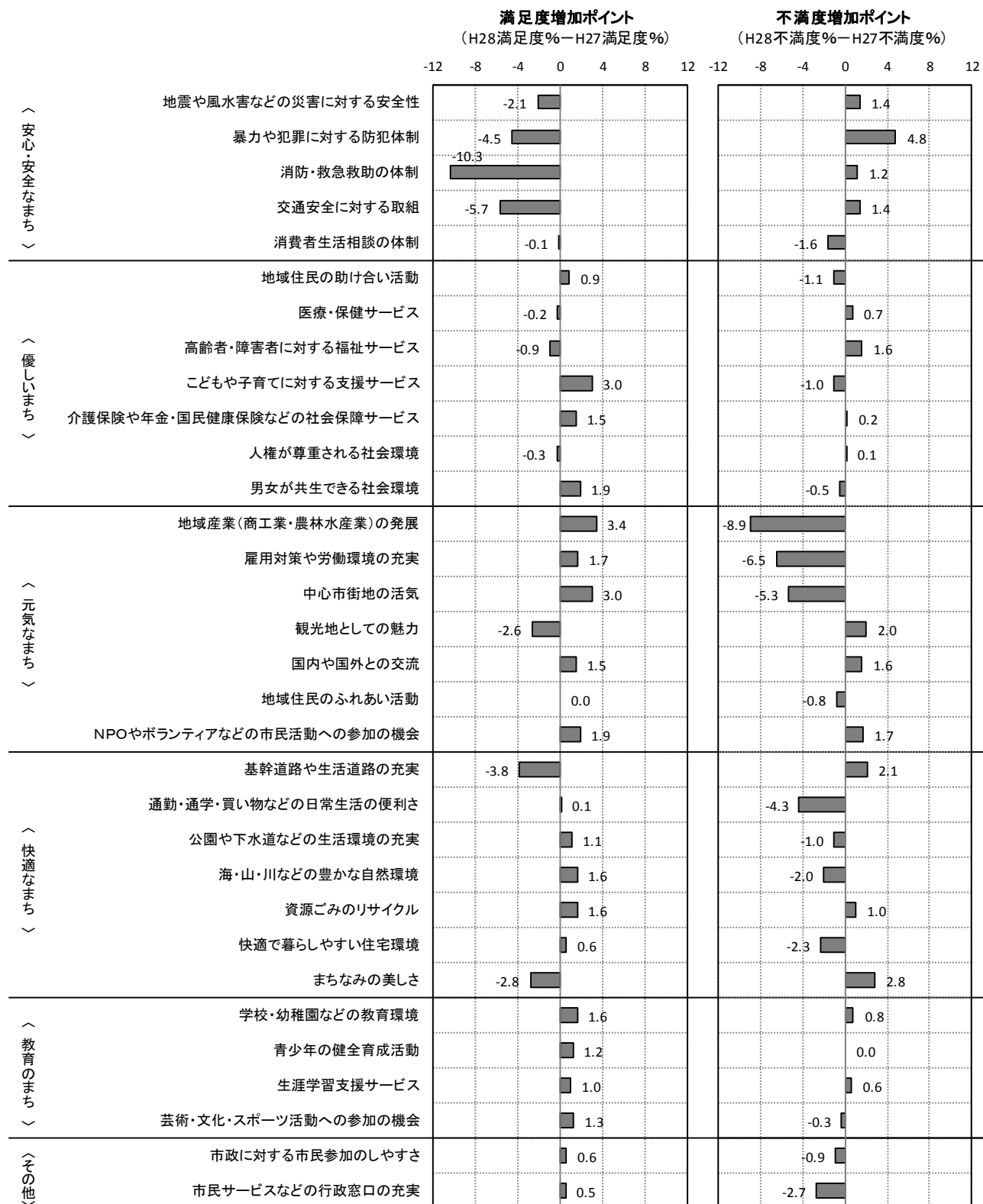
【重要率(「非常に重要」と「重要」の計)の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=256)	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 <p>【安心・安全なまち】</p> <p>77.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 医療・保健サービス <p>【安心・安全なまち】</p> <p>【優しいまち】</p>	74.2%	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 <p>【安心・安全なまち】</p> <p>71.9%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基幹道路や生活道路の充実 <p>【快適なまち】</p> <p>71.5%</p>
南部 (n=108)	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 <p>【安心・安全なまち】</p> <p>84.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 消防・救急救助の体制 <p>【安心・安全なまち】</p>	82.4%	<ul style="list-style-type: none"> 基幹道路や生活道路の充実 <p>【快適なまち】</p> <p>78.7%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 医療・保健サービス 介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 通勤・通学・買い物などの日常生活の利便さ <p>【優しいまち】</p> <p>【優しいまち】</p> <p>【快適なまち】</p> <p>77.8%</p>
東部 (n=147)	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 <p>【安心・安全なまち】</p> <p>77.6%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 通勤・通学・買い物などの日常生活の利便さ <p>【快適なまち】</p> <p>77.6%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 <p>【安心・安全なまち】</p> <p>76.9%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 <p>【安心・安全なまち】</p> <p>76.9%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基幹道路や生活道路の充実 <p>【快適なまち】</p> <p>72.8%</p>
東南部 (n=74)	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 <p>【安心・安全なまち】</p> <p>79.7%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 消防・救急救助の体制 <p>【安心・安全なまち】</p>	78.4%	<ul style="list-style-type: none"> 子どもや子育てに対する支援サービス 通勤・通学・買い物などの日常生活の利便さ 公園や下水道などの生活環境の充実 <p>【優しいまち】</p> <p>【快適なまち】</p> <p>【快適なまち】</p>	74.3%
河西部 (n=291)	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 <p>【安心・安全なまち】</p> <p>82.8%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 <p>【安心・安全なまち】</p> <p>78.4%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 <p>【安心・安全なまち】</p> <p>78.0%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基幹道路や生活道路の充実 <p>【快適なまち】</p> <p>76.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス <p>【優しいまち】</p> <p>75.9%</p>
河北部 (n=101)	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 消防・救急救助の体制 <p>【安心・安全なまち】</p> <p>【安心・安全なまち】</p>	84.2%	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 <p>【安心・安全なまち】</p> <p>81.2%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に対する取組 <p>【安心・安全なまち】</p> <p>77.2%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基幹道路や生活道路の充実 <p>【快適なまち】</p> <p>75.2%</p>

【満足度：前年度の比較】

平成27年度と平成28年度の満足度（「非常に満足」、「満足」の割合）の変化は、「消防・救急救助の体制」、「交通安全に対する取組」が5ポイント以上減少している。

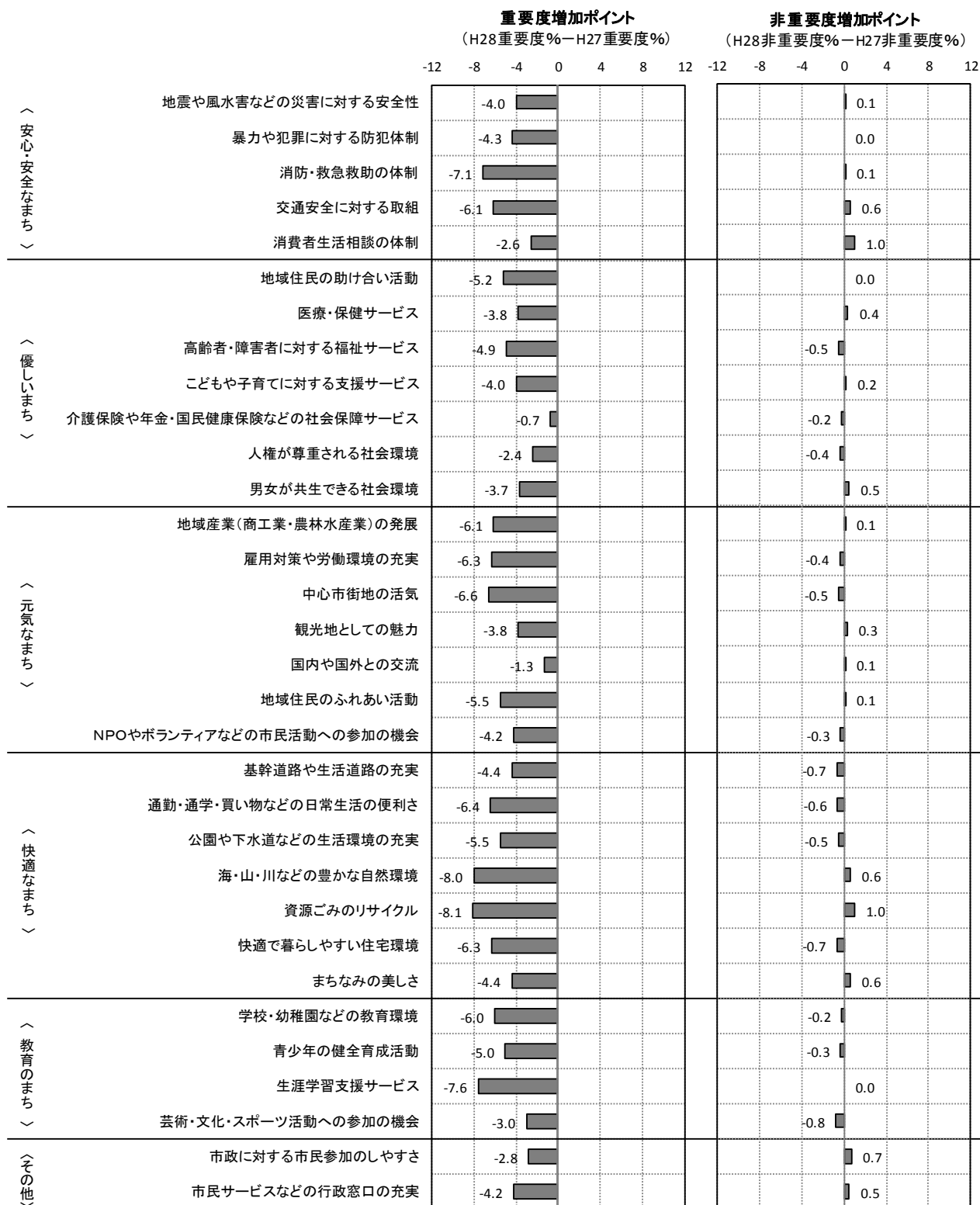
不満足度（「非常に不満」、「不満」の割合）の変化は、「地域産業（商工業・農林水産業）の発展」、「雇用対策や労働環境の充実」、「中心市街地の活気」が5ポイント以上減少している。



【重要度：前年度の比較】

平成27年度と平成28年度の重要度（「非常に重要」、「重要」の割合）の変化は、全ての項目が減少している。特に「資源ごみのリサイクル」は8.1ポイント、「海・山・川などの豊かな自然環境」は8.0ポイント、「生涯学習支援サービス」は7.6ポイント、「消防・救急救助の体制」は7.1ポイント減少している。

非重要度（「あまり重要でない」、「全く重要ではない」の割合）については、大きな変化はみられなかった。



【重要度と満足度ギャップ分析（ポートフォリオ）】

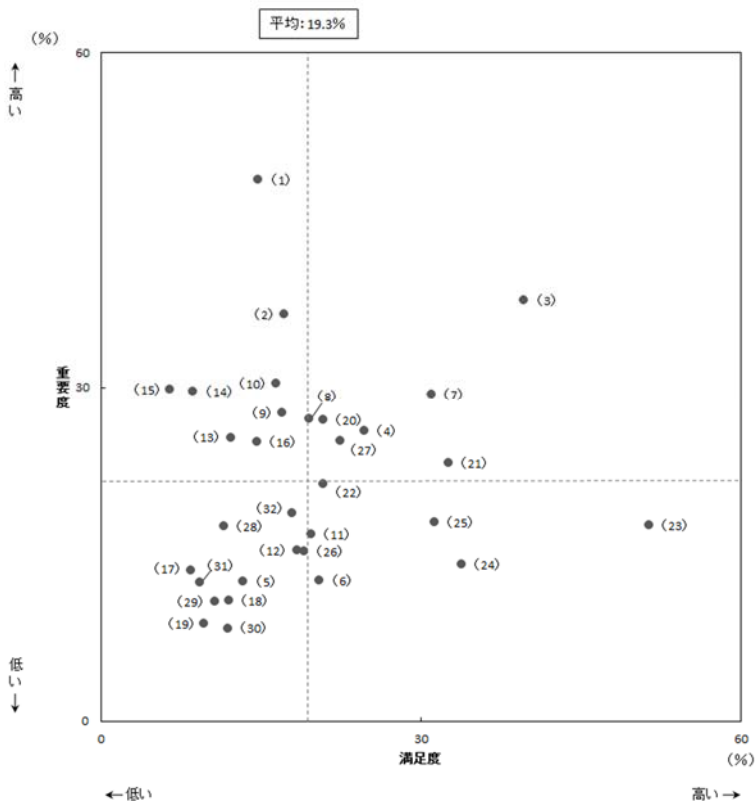
「重要度（「非常に重要」の比率）」と「満足度（「非常に満足」と「満足」を合わせた計）」との関係を散布図に表した。図の横軸は満足度、縦軸は重要度を表している。

重要度が満足度を10.0ポイント以上上回る項目は、ギャップの大きい順にみると「(1) 地震や風水害などの災害に対する安全性」、「(15) 中心市街地の活気」、「(14) 雇用対策や労働環境の充実」、「(2) 暴力や犯罪に対する防犯体制」、「(10) 介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス」、「(13) 地域産業（商工業・農林水産業）の発展」、「(9) こどもや子育てに対する支援サービス」、「(16) 観光地としての魅力」の8項目となっている。

満足度が重要度を10.0ポイント以上上回る項目は「(23) 海・山・川などの豊かな自然環境」、「(24) 資源ごみのリサイクル」、「(25) 快適で暮らしやすい住宅環境」の3項目である。

凡例	項目名	満足度計	重要度
(1)	地震や風水害などの災害に対する安全性	14.8	48.6
(2)	暴力や犯罪に対する防犯体制	17.2	36.5
(3)	消防・救急救助の体制	39.7	37.8
(4)	交通安全に対する取組	24.7	26.0
(5)	消費者生活相談の体制	13.4	12.5
(6)	地域住民の助け合い活動	20.5	12.6
(7)	医療・保健サービス	31.0	29.3
(8)	高齢者・障害者に対する福祉サービス	19.6	27.1
(9)	こどもや子育てに対する支援サービス	17.0	27.6
(10)	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス	16.5	30.3
(11)	人権が尊重される社会環境	19.7	16.7
(12)	男女が共生できる社会環境	18.4	15.3
(13)	地域産業(商工業・農林水産業)の発展	12.2	25.4
(14)	雇用対策や労働環境の充実	8.7	29.6
(15)	中心市街地の活気	6.5	29.8
(16)	観光地としての魅力	14.7	25.0

凡例	項目名	満足度計	重要度
(17)	国内や国外との交流	8.5	13.5
(18)	地域住民のふれあい活動	12.0	10.8
(19)	NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会	9.7	8.7
(20)	基幹道路や生活道路の充実	20.9	27.0
(21)	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ	32.6	23.1
(22)	公園や下水道などの生活環境の充実	20.9	21.2
(23)	海・山・川などの豊かな自然環境	51.4	17.5
(24)	資源ごみのリサイクル	33.8	14.0
(25)	快適で暮らしやすい住宅環境	31.3	17.8
(26)	まちなみの美しさ	19.1	15.2
(27)	学校・幼稚園などの教育環境	22.5	25.1
(28)	青少年の健全育成活動	11.6	17.4
(29)	生涯学習支援サービス	10.7	10.7
(30)	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会	11.9	8.3
(31)	市政に対する市民参加のしやすさ	9.3	12.4
(32)	市民サービスなどの行政窓口の充実	18.0	18.6



※重要度と満足度のギャップをみるにあたり、重要度を「非常に重要」と「重要」を合わせた数値で満足度（「非常に満足」と「満足」の計）のギャップをみると項目間の差が判断しにくいため、重要度に関しては「非常に重要」の数値を採用した。